

## Ⅸ 特色ある公民館活動

### 「子どもと地域の行事を結ぶ公民館活動」

筑後市上原々公民館 館長 野間口 康夫  
筑後市中央公民館 係長 中村 敏和

#### 1 事業名

青少年健全育成事業

#### 2 事業の目的

##### (1) 事業の背景

平成14年に完全学校週5日制となり1年後の評価では、ある新聞に次のような記事が掲載されていた。

- ・評価できる点 : 家族と一緒に過ごす時間が増えた。  
趣味、スポーツ、体験活動の機会が増えた等
- ・評価できない点 : テレビやゲームなど遊びの時間が増えた。  
親の負担が大きくなった。  
塾通いが増える心配が出てきた等。  
特に、「遊びの時間が増えた(38%)」が最も多かった。

##### (2) 事業の目的

子どもの健全育成に寄与する。

#### 3 事業の実施主体

上原々(かんばらばら)公民館(町内公民館)

#### 4 連携・協力機関・団体等

公民館運営委員会(行政区評議員、長寿会、子ども会、隣組等35名で構成)

#### 5 事業予算

公民館総予算260万円の内、子ども会との共催事業費として105万円

#### 6 実施に至る経緯

- (1) 学校週5日制への対応として、「公民館活動の一環として、子ども会と一緒に活動できないか」と言う区民の思いと、「上原々公民館長としてお手伝いできないか」と言う思いが一致した。

##### (2) 検討した具体例

- ア 公民館を区民交代で開館し、子ども達と何かをして遊ぶ。
- イ デイサービスに子どもも参加できるよう工夫する。
- ウ 子ども達の作品(何でもよい)を展示して見てもらう。
- エ 子どもが体験したいものに取り組む(芋植え、野菜栽培等)。

#### 7 プログラム作成の視点

キャッチフレーズ: 子どもが主役

- (1) 子ども達が参加できる競技等を考案する。
- (2) 町の伝統行事に子ども達を参加させる。
- (3) 土曜日を活用する。
- (4) 市内企業の協力を得る。

(5) 収益事業（石焼き芋販売等）を行う。

## 8 事業の内容

### 平成23年度年間計画

番号	月日	行事名	行事内容
1	5/29 (日)	キックベースボール	ソフト大会を変更、上原々ルールを考案し実施
2	6/5 (日)	プールで遊ぼう	J S S 筑後スイミング後援で、約 200 名参加
3	6/11 (土)	サツマ芋植え	参加者約 180 名、さつま芋 1,300 本を植えた
4	7/24 (日)	地藏盆花火大会	小屋・地藏の掃除及び前掛け替え、花火大会実施
5	8/27 (土)	夏祭り芸能大会	神輿・映画上映・夜店・演芸会・抽選会実施
6	10/23(日)	町民大運動会	延 2,600 名が参加
7	11/5(土)	収穫祭（芋掘り）	石焼き芋を振る舞い、子ども会に芋を配分
8	11/13(日)	文化祭	子ども作品展・映画上映・バザー(石焼き芋等)
9	1/1(日)	年賀の集い	中3女子が巫女として参加（お神酒の献酌等）

### 活動事例

#### 《キックベースボール》

平成13年の公民館運営委員会で、それまでのソフトボール大会を子どもたちも参加できるようにしたらどうかとの提言があり、平成14年から「上原々ルール」によるキックベースボールを実施している。初年度は参加者が少なかったが徐々に増え、現在は子ども80名、保護者等180名が参加し大いに盛り上がっている。



#### 《さつま芋植え・収穫祭（さつま芋掘り）》

学校週5日制にともない、子ども達が土曜日の対応に困らないように、公民館で何かできないか公民館運営委員会で検討した結果、平成13年からさつま芋を植えることにした。6月の土曜日に植えて、11月の土曜日に収穫することとした。現在では、1,300本の苗を、子ども約100名、保護者約50名、公民館運営委員約25名ほどで植えている。草取りは、各子ども会が夏休みの土曜日に実施する。



芋掘りでは、「石焼き芋」を早朝から焼いて子ども達に振る舞う。収穫した芋は、子ども会のものは子ども達が持って帰り、公民館のものは文化祭で「石焼き芋」にして販売する。



### 《地蔵盆花火大会》

地蔵盆花火大会は、伝統ある村祭りを引き継いで現在に至っている。まず午前9時からお地蔵さんを洗い、小屋を清掃してお地蔵さんの前掛けを取り替え、次に4つの子ども会に1台ずつある神輿を担ぎ町内を回る。午後にはさらに映画・夜店・演芸会・抽選会などの行事が行われる。参加者は、子ども達が約150名、大人が約100名である。



### 《文化祭》

文化祭は、町内の皆さんの作品を展示するが、子ども達には、絵画・習字・手作り作品等何でもよいので全員作品を出すよう依頼する。子ども会のお母さん方は、焼きそば、焼き鳥、石焼き芋、さつまいものフライなどのバザーで参加している。



### 《年賀の集い》

1月1日、「住みよいまちづくり」を目的として「元旦祭」を行う。宮司の神事後祝宴を設ける。当日は、朝9時から女子中学3年生が巫女さんとなり、お神酒を参加者に献酌する。福引大会では、巫女さんがくじを引き参加者を喜ばせ終了となる。本行事は今年で31年間続く区の伝統行事である。付け加えると「巫女さんになると希望の高校に合格する」と言うジンクスもある。



## 9 事業の成果

- (1) 子ども会の保護者が積極的に地域の行事に参加するようになった。
- (2) 子どもが良く挨拶するようになった。
- (3) 行事を通して、子ども達と地域の方のふれあいが増えた。
- (4) 地域の方の「見守りボランティア」が芽生えてきた

## 10 今後の課題

- (1) 子ども会に加入していない子どもの加入促進
- (2) 父親の参加を増やす取り組み
- (3) 地域の方の「見守りボランティア」の活発化
- (4) 公民館を解放した時のスタッフの確保

## 11 問い合わせ先

筑後市上原々公民館 館長 野間口康夫  
〒833-0055 筑後市大字熊野1394-2  
TEL (FAX) 0942-52-8267  
e-mail : nmgc1012@awg.bbq.jp